
「心血管系感染症による持続性 MRSA (methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*) 菌血症患者に対するダプトマイシン、カルバペネム、オキサゾリジノンの 3 剤併用による救済療法」：症例シリーズに関するお知らせ

このたび、当院で診療を行った患者さんのカルテ記録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2014 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターに入院し、感染症の原因として、血液培養でメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*, MRSA) が陽性となり、3 種類の抗生物質による治療を受けられた方。

2. 研究の目的

3 種類の抗生物質による治療の有効性をカルテの記録 (診療録) から調べること。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2025/12/31

4. 利用または提供の開始予定日

病院長の許可後から 1 か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

カルテの記録から、血液培養でメチシリン耐性黄色ブドウ球菌が陽性となった日付、治療に用いられた抗生物質の種類、効果がみられたかどうか (菌が消えたかどうか)、効果があった場合、投与開始から効果が出るまでの日数を調べます。

この研究で得られた患者さんの情報は、研究責任者である、当院の感染症科・感染制御科の光武耕太郎が管理いたします。院内に限った扱いとなるため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

血液培養でメチシリン耐性黄色ブドウ球菌が陽性となった患者さんのカルテ記録を用います。

3. 試料・情報を利用する者 (研究実施機関：埼玉医科大学国際医療センター)

埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科 教授 光武 耕太郎(研究責任者)

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科 光武耕太郎

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：心血管系感染症による持続性 MRSA (methicillin-resistant Staphylococcus aureus) 菌血症患者に対するダプトマイシン、カルバペネム、オキサゾリジノンの3剤併用による救済療法：症例シリーズ

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 感染症科・感染制御科 光武耕太郎